TOTO

自動水栓(湯ぽっと〈W〉スリム専用品)施工説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のために必ずお守りください

ご使用前にこの「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお取付けください。
この説明書では、機器を安全に正しくお取付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

表示	意味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
また下に示す記号は説明書や製品に表示してお客様に安全に正しく製品をお使いいただくようにしたものです。内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠ 警告

水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームでは設置、使用しないでください。
(故障、感電の原因になります。)

⚠ 注意

湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどすることがあります。

おねがい

この製品は湯ぽっと〈W〉スリム専用品です。
必ず別売品の電気温水器とセットでご使用ください。

〈対象電気温水器〉

品名	湯ぽっと12〈W〉スリム	湯ぽっと25〈W〉スリム
品番	REW12A1B	REW25A1B
	A1B1	A1B1
	B2B	C2B
	B2B1	C2B1

仕様

電源		AC100V 50/60Hz
消費電力		常時2W(作動時4W)
電源コード		1.9m
給水圧力	最低必要水圧	(流動時)0.10MPa{1.0kgf/㎠}
	最高水圧	0.74MPa{7.5kgf/㎠}
給水部接続		G1/2
周囲使用温度範囲		0℃~55℃
周囲使用湿度範囲		90%RH以下
感知距離		自動設定(学習機能内蔵)

完成図(例)

■自動水栓　洗面器1連設置

■自動水栓　洗面器2連設置

使用条件

1. 使用水圧
給水圧力は電器温水器とセットで
{最低必要圧力 ……0.10MPa{1.0kgf/㎠}
最高圧力 …………0.74MPa{7.5kgf/㎠}
です。必ずこの圧力範囲内でご使用ください。
2. 湯・水を逆配管しないでください。

取付け前に

1. 電気製品ですので駆動部に水をかけないようご注意ください。また、浴室内では使用しないでください。
2. 電源はAC100V(50/60Hz)、最高消費電力は4Wです。必ずこれに適した配線をしてください。また、コンセントは本体の取出し位置から0.8m以内の壁面に設けてください。
3. 給水圧力範囲は、0.10~0.74MPa{1.0~7.5kgf/㎠}です。この圧力範囲内でご使用ください。
4. センサー面を傷つけないよう十分ご注意ください。
5. スパウトを陶器に固定した後、電源を入れてください。電源を入れてから約20秒間は、感知レベルを自動調整しますので、その間は、センサーに手をかざしたり陶器内に物を置かないでください。また陶器面は、かるくふくなどしておいてください。

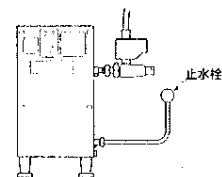
取付完了後の確認

取付けが完了した後、次の方法で確認を行ってください。

1. 設置後、ACアダプタをコンセントへ差込んでください。
(この時止水栓は閉めておいてください。)
2. スパウト部のLED付センサーを見て、LEDが点滅していないことを確認ください。
もしも点滅していればスパウトの向きを少しかえて、点滅しないところで再固定してください。
(この間、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。)
3. 手洗器・洗面器の種類によっては、LED付センサーのLED点滅が消えないことがありますが、その場合は、そのまま設置します。(約10分後にLED点滅は消え、その後は正常に作動します。)
なお、10分以内に作業が終らない場合は、以上の操作(1~3)をやりなおしてください。
4. 止水栓を開いて給水してください。
給水方法については、「電器温水器：湯ぽっと〈W〉スリム」の取扱説明書をご覧ください。
5. スパウトの吐水口に手を近づけると水が出て、手を離すと約1~2秒遅れて水が止まることを確認してください。
(センサー感知は、学習方式のため、手を動かさないでいると約15秒で止水します。)
6. 約1分間連続して感知すると自動的に止水します。再び吐水させたい場合は、一度手を離し、再度手を近づけてください。
7. 洗面器に水溜めする場合は、センサー前面約5㎝の位置に手をかざしたままにしますと、その間約1分間連続吐水します。

吐水量の調節

電器温水器内部の減圧弁により、吐水量は調整されておりますが、水の勢いが強すぎ吐水で袖濡れの恐れがある場合は電器温水器の給水元の止水栓を回して吐水量を調整してください。

温度調節部

工場で適温(約38℃)に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによって所定の吐水温度にならない場合があります。
その場合、温度調節ハンドルを手で回して温度を調節してください。

ストレーナの掃除

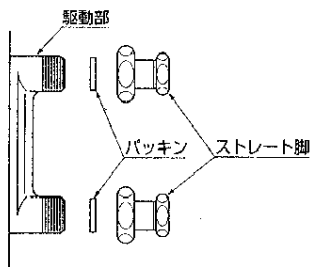
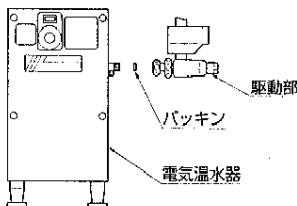
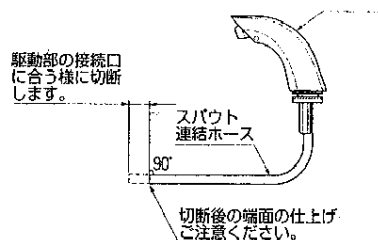
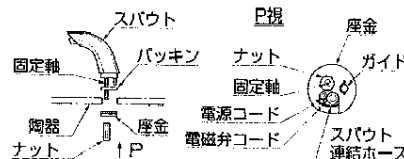
ストレーナがつまると吐水量が少なくなり、十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。
また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。

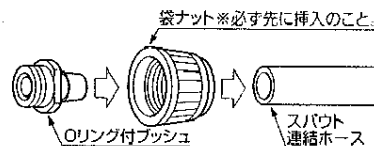
- ストレーナは電気温水器に内蔵されています。掃除方法については「電器温水器：湯ぽっと〈W〉スリム」の取扱説明書をご覧ください。

お　手　入　れ

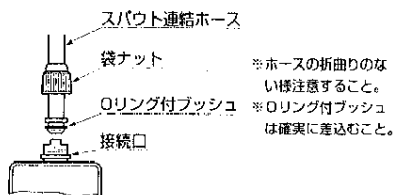
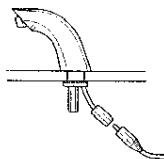
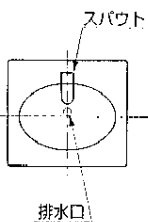
器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。
なお、お手入れ方法は、"取扱説明書" をご覧ください。

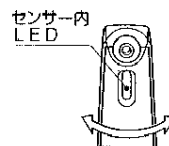
施工手順

[1] ストレート脚の大きい方の袋ナットにパッキンを入れ、駆動部に取付けてください。
(注)パッキンを必ず取付けてください。

[2] ストレート脚の小さい方の袋ナットにパッキンを入れ、電気温水器の出水口・出湯口に接続してください。
(注)パッキンを必ず取付けてください。

[3] スパウトを洗面器に仮固定し、スパウト連結ホースを駆動部の接続口に合うように適当な長さに切断します。
このときカッター等を用い、切断面は、垂直かつ確実に行ってください。

[4] スパウト部取付下部から、座金をスパウト連結ホースと電源コード、電磁弁コードのかみ込みに注意して取付けます。座金をとめるナットは、スパウトがゆるまないよう、確実に締付けてください。

(注)スパウト連結ホース及び電源コード、電磁弁コードのかみ込みに注意する。

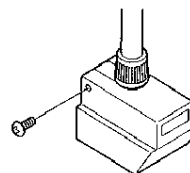
[5] スパウト連結ホースに端面から、袋ナットを通した後、Oリング付ブッシュを差込みます。

[6] Oリング付ブッシュを駆動部の接続口に差込んだ後、袋ナットを締付けます。
Oリング付ブッシュが、確実に差込まれているか確認し、締付けは手締めにて行ってください。

[7] 電磁弁コネクタを接続し、ゴムブッシュを取付けます。電磁弁コネクタが確実に接続されているか確認し、駆動部カバーをロックがかかるまで差し込みます。

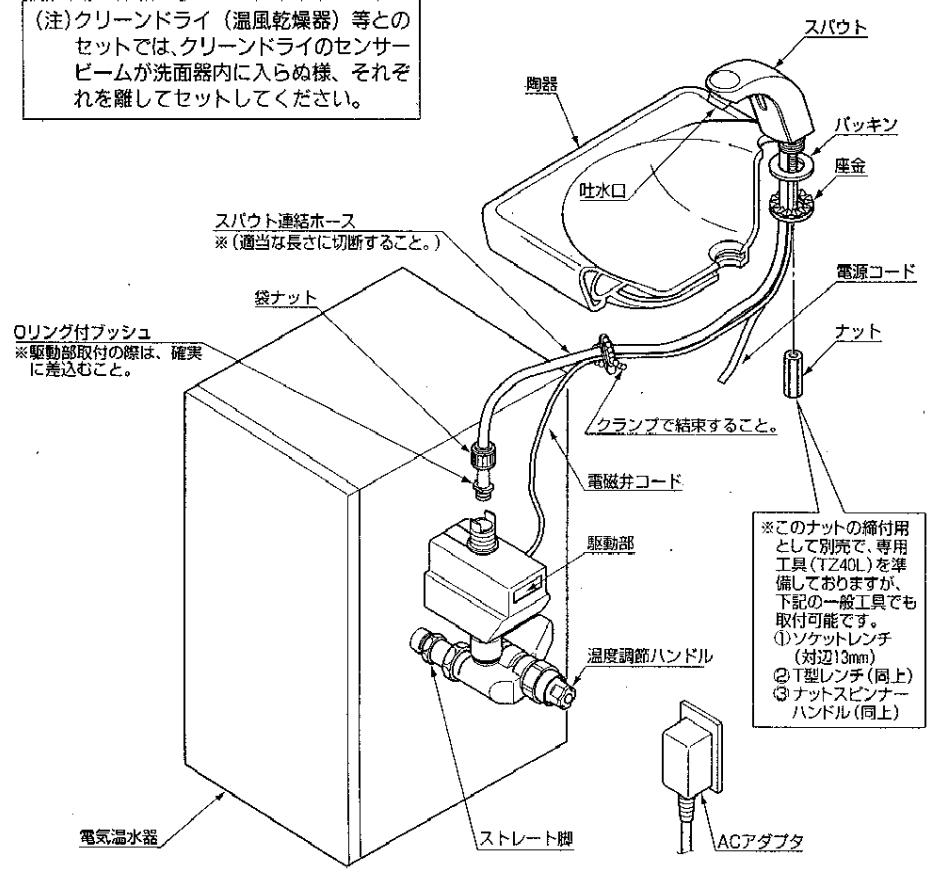
- 電磁弁コネクタが接続しにくい場合は、クイックファスナーをはずし、駆動部をはずして接続してください。

[8] AC アダプタを接続してください。

[9] スパウトを陶器に本固定します。
(注)スパウトを固定する際は、必ず陶器のボール面中心に向けてください。

対象陶器品番
・L330RC
・L332C
・L517
・L525C
・L537
・L546
・L548
・L581C
・L582C
・L851C

[10] AC アダプタをコンセントに差込みます。
- 電源を入れてから約10分間は、感知しても点滅しますが、故障ではありません。(約10分後、LED の点滅は消え、その後は正常に作動します。)

※電源を入れてから、約20秒間は、陶器内に物を入れないでください。
※陶器によって点滅が消えない場合がありますが故障ではありません。
(点滅が消えない場合はスパウトの向きを少しずらして点滅が消えたところで固定してください)

- 電源が入ると、直ちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約20分間でこの動作は完了します。)

[11] 盗難等の恐れのある場合は、駆動部カバーを付属のビスにて固定してください。

[12] 取付完了後の確認、吐水量の調節の項をご参照のうえ、確認、調節してください。

裏面へつづく

再生紙を使用しています。　※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

（注）クリーンドライ（温風乾燥器）等とのセットでは、クリーンドライのセンサービームが洗面器内に入らぬ様、それぞれを離してセットしてください。
スパウト
陶器
パッキン
座金
吐水口
スパウト連結ホース
※（適当な長さに切断すること。）
電源コード
袋ナット
ナット
Oリング付ブッシュ
※駆動部取付の際は、確実に差込むこと。
クランプで結束すること。
電磁弁コード
駆動部
※このナットの締付用として別売で、専用工具（TZ40L）を準備しておりますが、下記の一般工具でも取付可能です。
①ソケットレンチ（対辺13mm）
②T型レンチ（同上）
③ナットスピンナーハンドル（同上）
温度調節ハンドル
電気温水器
ストレート脚
ACアダプタ